愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】保育実習指導ⅠB		
担当者(Instructors)	伊藤 龍仁	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

<p>■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)</p> <p>保育実習ⅠBの事前指導として、子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシー保護と守秘義務、実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容等を理解して書類を整え、保育実習ⅠBの事後指導として総括と自己評価に取り組みながら今後の学習課題や目標を明確化する。</p>

<p>■ 授業形態・授業の方法 (Class form)</p>	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	福祉施設実習を行うために必要な知識を、ディスカッションを取り入れた講義と視聴覚学習で情報提供し、ワークシートにアウトプットさせて定着化を図る。経験値を高めて自信を育むためにフィールド・ワークとしてのサービス・ラーニングに取り組み、報告書を提出させる。配属施設をイメージさせながら実習計画書その他の書類と実習後の報告書等の作成作業に取り組みさせる。今年度は児童養護施設における学外授業を設けて施設職員から直接指導を受ける機会を設ける。

<p>■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)</p>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	履修オリエンテーション 保育実習事前指導ⅠBの振り返り	保育実習ⅠBと事前指導としての本授業の履修方法を説明し、保育実習事前指導ⅠBを振り返りながらワークシートを記述させる。	☐
第2回	配属施設の確認・施設実習の概況説明 宿泊に伴う留意点について	保育実習ⅠBの配属施設を確認して配属施設に関する概況説明を行う。また、テキストに基づいて宿泊を伴う施設実習の留意点を説明する。	☐
第3回	保育実習ⅠBの実習内容と方法に関するVTR学習	VTRに基づき保育実習ⅠBの実習内容とその方法を確認しながらワークシートに記述させる。	☐
第4回	施設実習の内容と方法 実習記録の書き方	テキストに基づき施設実習の内容と方法を指導する。また、個別の児童記録とエピソード記録について解説する。	☐
第5回	事前提出書類と実習計画書の作成	事前提出書類と実習計画書（課題と抱負）の作成を行う。	☐
第6回	事前提出書類と実習計画書の完成 細菌検査等の手続確認	事前提出書類と実習計画書を完成する。細菌検査等の手続について説明する。	☐
第7回	提出書類の最終確認 事前訪問ガイダンス	事前提出書類の最終確認を行う。事前訪問についての説明を行う。	☐
第8回	事前訪問日確認 事前訪問に関する留意点	実習グループのリーダーが施設と連絡を取り合い事前訪問日を確認した後に報告を行う。事前訪問日の留意点を説明する。	☐
第9回	事前訪問報告書提出 学外授業事前指導	実習グループごとで実施した事前訪問指導の報告書を作成して提出する。翌週に施設で実施する学外授業の事前指導を行う。	☐
第10回	児童養護施設における学外授業	市内の児童養護施設を訪問して施設職員から直接指導を受ける。	☐
第11回	学外授業の事後学習	学外授業の事後指導を行い、施設実習の具体的な内容と方法を確認する。	☐
第12回	実習反省会および実習の終え方について 実習報告書について	実習反省会および実習の終え方についてと指導を行う。また、実習後に作成する実習報告書について説明する。	☐
第13回	直前指導・諸注意	健康管理、心構え等施設実習直前の指導を行うとともに書類等提出物の確認を行う。	☐
第14回	全体での事後指導	施設実習終了後に全体での事後指導を実施する。	☐
第15回	実習グループ別事後指導	実習記録並びに実習施設からの評価票に基づき実習グループ別の事後指導を実施する。	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

実習の事前学習としてサービス・ラーニングを計画的に実施して報告書を作成する。また、「課題と抱負」「実習計画書」その他書類の作成作業を行う。実習後には実習ノートを完成し、その他関係書類をまとめるとともに施設実習報告書の作成を行う。以上の事前・事後学習を合計30時間程度行うこと。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出書類については添削して評価を行い、授業内で返却して解説し、改善を図らせる。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	保育士資格に必須の資質と知識、基礎的・実践的な技能を身につけられたか。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	現代の児童福祉現場に存在する多様な問題や課題に正面から向き合うことのできる力強い思考力・判断力並びにコミュニケーションスキルと表現力を習得できたか。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	児童福祉施設における養護・教育・保育に主体的協働的に携わることのできる幅広い人間力を体得できたか。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

提出物 50%

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	保育士をめざす人の福祉施設実習〔第2版〕 愛知県保育実習連絡協議会・「福祉施設実習」編集委員会 編編集代表：伊藤貴啓・小川英彦	9784860153083
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		